

平成21年度 和歌山県文化奨励賞

もり
森

くみこ
久美子

住 所：和歌山県和歌山市
出 身 地：和歌山県和歌山市
生 年：昭和30年

◎業績及び経歴

昭和30年和歌山市に生まれる。25歳の頃からフラメンコを始め、平成元年に2人の子どもを連れて、スペインに留学し、ベレン・マジヤ、サラ・バラス等の一流アーティストに師事する。帰国後、和歌山、大阪のカルチャーセンターにおいて講師としてフラメンコの指導にあたる傍ら、「フラメンコ舞踊家まえだくみこ」として活動を始める。

平成7年自らのフラメンコ舞踊団を結成し、県内外において公演を行うようになる。平成11年には南紀熊野体験博において熊野三山をイメージした作品「もののけ」を発表。翌年にはアメリカ・ニューヨーク州のクィーンズカレッジの芸術祭において、フラメンコと尺八のコラボレーション公演を行う。これらの公演をきっかけにスペイン伝統のフラメンコに和楽器やイリュージョンなど、これまでにない要素を取り入れた独自のフラメンコの世界を築きあげる。

平成17年以降、イタリアにおいて「フラメンコ～高野・熊野を駆ける～」東京・岐阜において「ファンタスティコ・フラメンコ オペラ座の怪人」、地元和歌山において「ドラマティコフラメンコ～炎の道成寺・清姫伝説～」など意欲的な舞台を次々に制作、公演し、大きな反響を呼んでいる。一方で、毎年、スペインより一流アーティストを和歌山へ招聘して共演を重ねるなど、伝統的な本場のフラメンコを伝えることにも力を入れている。

平成19年より本名の森公美子で活動しており、同年、「フラメンコアカデミア ラ・ダンサアンダルシア」を設立し、毎年のようにスペインへの研

修会を実施するなど、後進の指導育成にも力を注ぐとともに、フラメンコ愛好会の裾野を広げようと「和歌山フラメンコ協会」を設立するなど、幅広い活動を展開している。

フラメンコを通して、和歌山から新しい文化の発信をめざした氏の活動は、本県の文化振興に寄与しているのみならず、今後更なる活躍が大いに期待されている。

■現在

フラメンコ舞踊家
森公美子フラメンコ舞踊団代表
和歌山フラメンコ協会会長